



民主

PRESS MINSHU

号外(保土ヶ谷区版)

平成 27 年 3 月号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014

千代田区永田町1-11-1

03-3595-9988

press@dpi.or.jp

www.dni.or.jp

暮らしのための 県政を!

—民主党神奈川県議団の政策—

保土ヶ谷を誰よりも愛し、知り尽くした男、再び県議会に挑戦



前県議会議員

こうや 清

私たちは民主党の目指す社会は一人一人の生命を大切に作る社会です。税金のムダづかいを徹底的になくし、県民生活の立て直しに使う、それが民主党神奈川県議団の理念です。

政治とは、政策や予算の優先順位を決めることです。私たち民主党県議団は、県民の暮らしを第一に考え、前例踏襲ではなく、県民の皆さんの目線で行動し、すべての人が、互いに役に立ち、居場所を見出すことのできる神奈川県にするために力合わせて頑張ります。

私は、40数年間の政治キャリアを凝縮し、再度県議団の一員としてバリバリ働きます!

経験・実績を活かし、情熱・正義感で
県民目線の県政改革に邁進します!

★やってきたこと

- 県補助金の廃止・見直し 202 件、75 億円削減!
- 人件費の抑制 746 億円削減! (平成 24~25 年)
- 県立高校の定員目標拡大 900 名に拡大
- 再生可能エネルギーの増加 43 万 kw (55%) 増加
- 養護学校のスクールバスの増車 24 台増車!
- 看護師養成数の増加 45 名増加 (うち県立 92 名)

- 交番・警察署等の警察施設への AED の新規設置
- 医師不足数の解消 地域医療支援センターの設置
- 議員定数削減
- 政務活動費の透明化
収支報告書を 1 円から公開
- 卒業式、入学式での
国旗の掲揚・国歌の斉唱の徹底
- 日本史の必修化



★これからやりたいこと

高齢者

24 時間 365 日待ったなしの支援を!

政府与党は昨年 6 月、①要支援 1・2 の訪問介護・サービス介護保険から外し、②特別養護老人ホームの利用を「要介護 3 以上」に制限し、③一定所得以上の利用者負担を 1 割から 2 割に引き上げるという大幅な負担増・サービスカットを行う法案を強行採決で成立させました。

国の財政負担軽減が目的ですが、地域間の格差が生じ、十分な介護が受けなくなる恐れもあり、かえって財政負担が増えてしまいます。

こうした理不尽な「要支援切り」に断固反対し、充実したサービスの復活を目指します。

ほかにも、こんなことに取り組みます!

- 在宅介護への手厚い支援
- 大家族の支援
- 先進的な認知症対策
- 高齢者福祉施設の整備促進
- 買い物弱者対策
- 後見人の育成で高齢者の生活を守る

医療福祉

予防医療で健康長寿 No. 1 へ！

日本全体の長野県レベルになると、現在より約 2 兆円の医療費削減になるというデータもあります。自民党政権のように弱者を切り捨てる医療費削減でなく、民主党は、食生活の改善やがん検診の受診率向上など、予防医療に重点を置いた政策によって、健康長寿と医療費削減に取り組みます。

ほかにも、こんなことに取り組みます！

- がんセンター、こども医療センター、精神医療センターの機能強化
- 医療・介護従事者の賃金アップ
- 障がい者福祉の充実

子育て支援

子ども医療費助成の拡大を！

神奈川県の子ども医療費助成は、周辺都県に比べて大きく見劣りします。東京 23 区、さいたま市、千葉市では中学校卒業まで助成が受けられるのに対し、横浜市は小学校就学前まで、川崎市では小学校 1 年生までというように、きわめて不十分な水準に留まっています。

県内どこでも、少なくとも小学校卒業まで医療費助成が受けられるよう取り組みます。

ほかにも、こんなことに取り組みます！

- 「待機児童ゼロ」の実現
- 病児・病後児保育の充実
- 学童保育の充実
- 子どもの貧困対策
- 少子化対策（児童手当の上乗せ）
- 幼児教育・保育の無償化
- イクメン支援

安全

警察官の定員拡大を！

	警察官数 (H26 条例 定数)	人口 (H25、10)	1 万人当たり 警察官数
神奈川県	15,523 人	907.9 万人	17.10 人
東京都	43,272 人	1330.0 万人	32.54 人
大阪府	21,275 人	884.9 万人	24.04 人
全国平均	257,041 人	1 億 2,797 万人	20.19 人

全国平均を上回るレベルにまで定員の拡大を目指します。

ほかにも、こんなことに取り組みます！

- 防犯カメラの設置促進
- 通学路の安全確保
- 高齢者を狙う「オレオレ詐欺」対策
- 感染症対策
- コンビニを利用した「防犯ボックス」の設置
- 自転車の安全対策
- 危険ドラッグ対策

教育

中学校給食の早期導入を！

神奈川県は中学校給食実施率が全国ワースト 2 位。県下市町村の実情に合った学校給食の早期実現を目指します。

災害対策

都市型災害に強い街づくりを！

都市の下水道は 1 時間に 50 ミリの雨が排水できるように設計されています。

ゲリラ豪雨の場合の危険箇所を早急に把握し、設備の改善や避難体制の整備に取り組みます。

ほかにも、こんなことに取り組みます！

- 次なる大地震への対策
- 土砂災害対策
- 帰宅困難者の家族対策
- 消防団の支援
- 女性目線の避難所運営

商店街・中小企業

商店街・中小企業は地域の柱。あらゆる政策資源を投入し、活性化を目指します！

商店街は、地域の人々の身近な買い物の場であるばかりでなく、イベントや交流の場として、地域社会の中核となる役割を果たしています。私たちはあらゆる政策資源を投入し、商店街振興に取り組みます。

ほかにも、こんなことに取り組みます！

- 商店街街路灯電気料金の補助
- 高齢者の買い物支援
- 中小企業支援の強化

行政・議会改革

県有施設の中には、年間数億円もの赤字を出しながら、一向にその運営が改善されていないものが多くあります。県は「緊急財政対策」で、こうした施設の廃止・見直しを打ち出しましたが、多くの施設で課題が残っています。

必要性の低い施設は思い切って廃止し、必要性の高い施設も、運営の改善によって赤字を解消・縮小するよう、徹底的な見直しを行います。

行政改革を断行します！

- 第三セクターの廃止・見直し
- 県組織のスリム化と効率化
- 赤字県立施設の抜本的見直し

議会改革を推進します！

- 一層の定数削減
- 政務活動費の一層の透明化
- ネット中継の拡大と開かれた議会を目指します